

## 1.令和6年度在籍について

1)在籍児数 120名(令和7年3月31日現在)

2)年齢別在籍児数

年齢別	1歳児	2歳児	3歳児 (年少児)	4歳児 (年中児)	5歳児 (年長児)	合計
幼児数	7名	14名	22名	35名	42名	120名

3)保育園・幼稚園・認定こども園 就園状況

1.2歳児(52%) 3歳児(96%) 4歳児(100%) 5歳児(100%)

## 2.令和6年度療育について

1)療育時間

- ・年少児(グループ療育) 1時間20分 (9:00~10:20)
- ・未満児(親子療育) 1時間 (10:30~11:30)
- ・年中児(グループ療育) 1時間30分 (13:00~14:30)
- ・年長児(グループ療育) 1時間30分 (14:40~16:10)
- ・年長児(個別机上療育) 1時間 (9:00~10:00) ※火・水・木・金

2)療育内容

## ◇親子療育

- ・子どもの特性を保護者が理解する手助けをしながら、家庭が子どもにとって過ごしやすい場になるよう支援する。
- ・望ましい行動を増やす方法について、保育士や公認心理師等の支援者が一緒に考える。
- ・療育に通う子ども本人だけでなく保護者も必要な支援を受け、困りごとが軽減するよう支援する。

## ◇グループ療育

- ・個別療育と集団療育の両方のメリットを合わせもつ療育。
- ・子どもの発達に合わせて細やかな支援をする。
- ・子ども同士のコミュニケーションや模倣を経験し、望ましい行動が増えるよう支援する。

## ◇個別机上療育(年長児希望者)

- ・机上課題に特化した療育。
- ・子どもの発達や特性、課題に合わせたきめ細やかな療育を提供する。

## ◇個別支援計画

- ・療育を実践するために必要な個別支援計画の作成(利用開始時作成→以降概ね6か月毎)
- ・保護者へのヒアリング、アセスメント、個別支援計画作成のための支援会議、計画作成を行う。

### 3)医療相談・専門療育

#### ◇医療相談 年間4日

倉根 超 先生

- ・保護者より子どもの障がい特性や発達の過程について相談を受け、助言及び指導を行う。  
(健康の維持、改善を含む)
- ・医療の介入が必要な場合は、医療機関の紹介を行う。

#### ◇作業療法士による からだの使い方や行動の発達相談 年間36日 (1日勤務)

児矢野 直美 先生

- ・子どもの発達を確認しながら、運動動作の基本的技能の向上のための評価と支援を行う。
- ・感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する調整支援を行い、保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。



#### ◇言語聴覚士による ことばとやりとりの発達相談 年間36日 (半日勤務)

滝口 恵 先生

- ・言語やコミュニケーションの基礎的能力向上のため、言語機能の発達を確認し評価を行う。
- ・保護者や職員に対し適切な助言及び指導を行う。



#### ◇公認心理師による 相談や発達検査 月13日

福田 礼 先生

- ・発達検査・知能検査・行動観察を行うとともに、保護者から子どもの様子を聴取し状態像をアセスメントする。アセスメント内容について、保護者にフィードバックするとともに職員と共有し支援に活かす。
- ・保護者からの相談を受け、子どものかかわり方等助言し保護者支援を行う。

個別相談・発達検査件数

	保護者個別相談	発達検査	療育中の相談
R6年度	35件	18件	49件

### 3. 令和6年度 年間行事及び専門療育実施内容

月	行事名	専門療育実施	他機関連携
4	療育開始(3) 避難訓練会議(1)	作業療法(17.19.22) 言語療法(11.18.25)	・幼稚園・保育園訪問(随時) ・関係機関見学同行(随時) ・関係機関見学受け入れ(随時)
5	下野市就学説明会(7~13) 避難訓練(25~31)	作業療法(9.14.22) 言語療法(16.23.30)	・学校教育課 ・こども家庭センター (5歳児健康相談事前研修)
6	避難訓練(18)	作業療法(6.14.17) 言語療法(13.20.27) 医療相談(28)	・こども家庭センター (5歳児幼稚園等訪問)
7	避難訓練(17)	作業療法(9.17.29) 言語療法(13.20.27)	・こども家庭センター (5歳児幼稚園等訪問)
8	避難訓練(29)	作業療法(2.8.27) 言語療法(4.18.25)	・こども家庭センター (5歳児幼稚園等訪問)
9	運営委員会(17) 避難訓練(24~30) (保護者への引き渡し訓練)	作業療法(2.11.20) 言語療法(12.19.26) 医療相談(6)	・こども家庭センター (5歳児幼稚園等訪問) ・学校教育課 (第1回教育支援委員会) ・学校教育課 (学校見学同伴) ・鹿沼市あおば園 (情報交換会)
10	避難訓練(18)	作業療法(8.11.21) 言語療法(3.17.31)	・こども家庭センター (5歳児幼稚園等訪問)
11	避難訓練(18)	作業療法(7.12.20) 言語療法(14.21.28) 医療相談(15)	・学校教育課 (第2回教育支援委員会)
12	避難訓練(9~13) 保護者研修会(16)	作業療法(2.6.10) 言語療法(5.12.19)	・学校教育課 (教育支援委員会) ・おもちゃの図書館 (クリスマス会)
1	避難訓練(20~22)	作業療法(15.23.30) 言語療法(6.16.30)	・こばと園施設見学 (市内地域子育て支援センター)
2	避難訓練(17~21)	作業療法(4.10.13) 言語療法(6.20.27) 医療相談(21)	
3	避難訓練反省会(21) 卒園式・年長児(24~28) (療育曜日ごとに実施) 療育終了(28)	作業療法(6.12.14) 言語療法(3.13.17)	・学校教育課 (各小学校へ引継ぎ) ・むつみこども園(卒園式) ・こども家庭センター (5歳児健康相談報告会)

( )内は日付

## 4. その他の活動

### 1) 研修の参加・実施状況

#### ◇令和6年度 児童虐待初期対応研修会 参加

日時：令和6年7月11日(木) 9時30分～11時30分

場所：下野市役所 3階 303会議室

講師：栃木県 県南児童相談所 社会的養育支援チーム 駒木 寛昭 氏

内容：小学校や幼稚園・保育園における児童虐待初期対応の実際について

#### ◇令和6年度 普通救命講習会 参加

日時：令和6年7月20日(金) 9時00分～11時00分

場所：石橋地区消防組合消防本部 3階 大会議室

目的：命を守る知識とスキルの習得

避難経路の確認と避難

心肺蘇生やAEDの使い方など応急手当の方法を習得する

#### ◇令和6年度 障がい福祉セミナー 参加

日時：令和6年7月19日(金) 14時00分～15時30分

場所：下野市役所 3階 303・304会議室

講師：栃木県社会福祉士会 会長 松永 千恵子 氏

内容：共生社会の実現に向けて～障害者差別解消法とは～

#### ◇令和6年度 きらら館合同避難訓練 参加

(きらら館トレーニング・こぼと園・デイサービスセンターきらら)

日時：令和6年7月24日(水) 9時00分～12時00分

場所：きらら館

目的：命を守る知識とスキルの習得

避難経路の確認と避難

心肺蘇生やAEDの使い方など応急手当の方法を習得する

#### ◇令和6年度 下野市特別支援教育研修会 実施

日時：令和6年8月20日(金) 9時30分～11時30分

場所：下野市役所 3階 303会議室

講師：こぼと園 公認心理師 福田 礼 氏

内容：愛着障害へのアプローチ

◇鹿沼市こども発達支援センターあおば園との研修会 実施

日時：令和6年9月26日(木) 9時30分～11時30分

場所：下野市こども発達支援センターこぼと園 療育室

目的：鹿沼市こども発達支援センターあおば園職員の施設及び療育見学  
あおば園職員とこぼと園職員の情報交換会

◇令和6年度 とちりハ病院研修会 参加

日時：令和6年11月15日(金) 13時30分～15時30分

場所：栃木県立わかくさ特別支援学校 体育館

講師：小児科医師 栗島 真理 氏

内容：発達障害(神経発達症)の診断と対応

講師：小児科医師 増田 卓哉 氏

内容：神経発達症における PCIT(親子相互交流療法)導入の試み

講師：臨床心理士 谷川 麻記 氏

内容：心理における未就学児支援～療育と保護者支援～

講師：保育士 畠山 美知 氏

内容：こども発達センター 親子療育での取り組み

◇小山地区医師会 市民公開講座 参加

日時：令和6年12月1日(日) 10時00分～11時30分

場所：きらら館 検診室

講師：小山地区医師会 学校保健委員会担当理事

とちぎっ子発達クリニック 院長 小黒 範子 氏

内容：発達障がいのある子を地域で育む～発達特性を知り、支援につなげる～

◇栃木県家庭相談員連絡協議会地区別研修会 実施

日時：令和6年12月11日(木) 10時00分～11時30分

場所：下野市役所 3階 303会議室

講師：こぼと園 公認心理師 福田 礼 氏

内容：気になる子へのアプローチ ～愛着障害・発達障害の視点から～



◇下野市こども発達支援センターこぼと園保護者研修会 実施

地域自立支援協議会子ども部会研修会

日時：令和6年12月16日(月) 9時30分～11時30分

場所：きらら館 健診室

講師：自治医科大学 小児科学講座 医師／こぼと園 嘱託医 倉根 超 氏

内容：家族まると支援の時代に考える発達特性とは

2) 関係機関との連携

◇こども家庭センター

5歳児健康相談

- ・下野市5歳児健康相談研修会において、こぼと園の取り組みについて紹介 (R6.5.23)
  - ・担当保育士・保健師・公認心理師が幼稚園等を訪問し園児の観察を行う
  - ・観察後のカンファレンスに参加し情報共有と連携を図る (R6.6月～10月 14回)
  - ・療育が必要と判断されるケースのお子さんに対して、適切に早期療育への繋ぎ
- 乳幼児発達二次健診 (年間7回)

◇学校教育課

- ・小学校、義務教育学校 (前期課程) 入学に向けた下野市就学相談説明会を学校教育課と社会福祉課(こぼと園)で共催 (きらら館会議室/R6.5.7～5.13)
- ・学校教育サポートセンター相談員との個別相談及び就学への繋ぎ
- ・教育支援委員会の委員として会議に参加 (年間3回)

◇医療機関

- ・発達検査結果等の情報提供書の作成及び送付
- ・必要に応じて病院受診の同行や情報の連携

◇保育園・幼稚園・認定こども園

- ・担当保育士・保健師・公認心理師が5歳児健康相談に保育園等を訪問し園児の観察を行う
- ・5歳児健康相談、観察後のカンファレンスに参加し情報共有と連携を図る
- ・保護者了承のもと、児の発達について情報を共有するとともに、保育園等の職員の療育見学の受け入れの実施

## 5.令和6年度 相談支援事業所こぼとについて

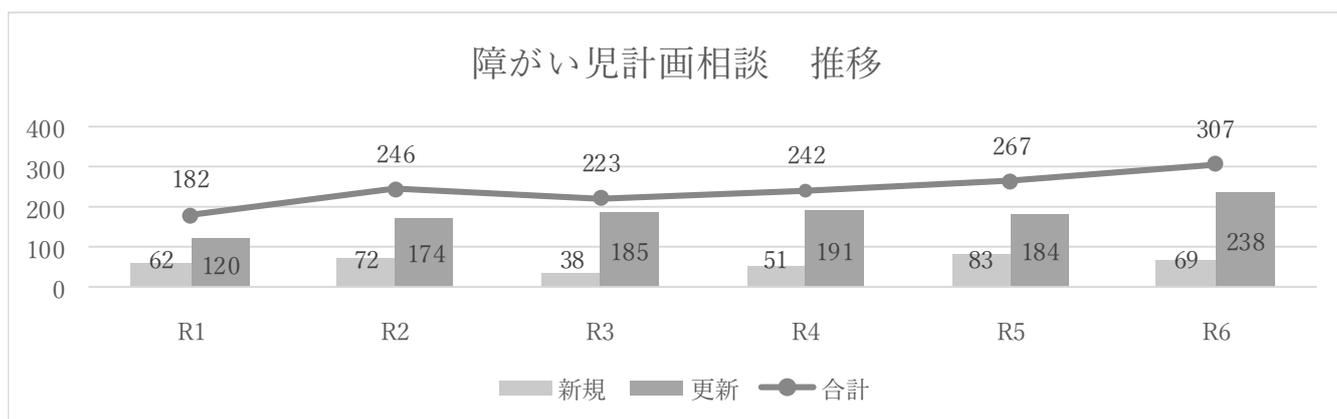
### 1) 相談件数

	面接相談		家庭訪問	
	実	延	実	延
R4	171	247	4	5
R5	243	267	4	8
R6	318	524	5	11

### 2) サービス等利用計画作成件数

	障がい児				特定	
	新規	更新	児発	放デイ	新規	更新
R4	51	191	147	95	0	0
R5	83	184	162	105	0	0
R6	69	238	176	131	0	0

※計画相談：「特定」は障がい者の計画＋障がい児の居宅サービス計画



・療育は、就学の時期に児童発達支援から放課後等デイサービスへとサービスが切り替わる仕組みがある。こぼと園では児童発達支援のみを実施しているため、療育を継続したい場合には、放課後等デイサービス事業の紹介をしている。申請には計画相談が必要だが、市内に障がい児の計画相談を実施している事業所は多くなく、放課後等デイサービスの利用希望者の約半数は、そのまま相談支援事業所こぼとで引き続き計画相談を実施している状況である。

### 3) 相談内容について

- ・療育のニーズの高まりとともに障がい児通所事業所が増え、複数事業所の併用利用、こぼと園利用児以外の計画作成や相談が増加傾向にあり、相談支援専門員の体制の検討が必要となっている。
- ・家庭や集団生活上の対応、就園や就学に関しての相談のほか、医療機関への受診が必要な児の支援調整や情報提供、受診同伴、学校教育サポートセンター等と連携、「とちぎリハビリテーションセンターこども発達支援センター」の利用など相談内容は複雑多様化してきており、様々な職種や組織と連携して対応する必要がある。